

リポーティングコードの設定

出所コードを設定するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 受入管理者
- 一般システム管理者

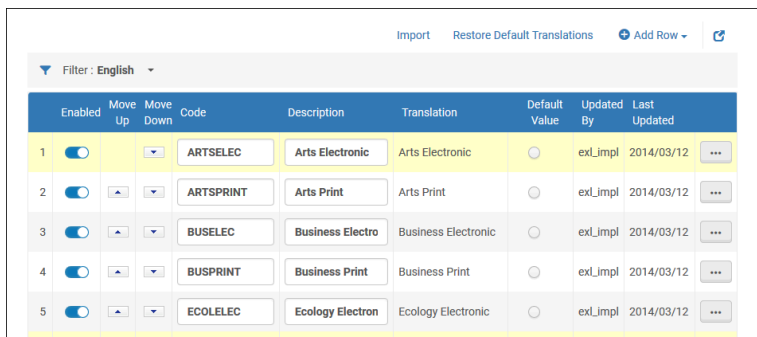
後続のレポートで受入の分析に使用できるコードを定義します。これらのコードは、Alma注文明細リストタブのドロップダウンリストに表示されます（[手動で注文明細を作成する](#)参照）。たとえば、郵便料金のリポーティングコードがある場合は、郵便料金のリポーティングコードがあるすべての注文書明細をリストするレポートを作成できます。リポーティングコードは、機関内のすべての図書館に適用されます。

Note

詳細については、[ベストプラクティスツールキット: 報告コード](#)で確認してください。

[レポートコードの設定](#)ビデオを視聴してください。

リポーティングコードは、1番目、2番目、3番目、4番目、および5番目のリポーティングコードテーブルで構成します（[\[設定メニュー\] > \[受入\] > \[発注書\] > \[1番目/2番目/3番目/4番目/5番目のリポーティングコード\]](#)）。コードテーブルの詳細については、[コードテーブル](#)を参照してください。



Enabled	Move Up	Move Down	Code	Description	Translation	Default Value	Updated By	Last Updated	
<input checked="" type="checkbox"/>			ARTSELEC	Arts Electronic	Arts Electronic	<input type="radio"/>	ex_Limpl	2014/03/12	...
<input checked="" type="checkbox"/>	▲	▼	ARTSPRINT	Arts Print	Arts Print	<input type="radio"/>	ex_Limpl	2014/03/12	...
<input checked="" type="checkbox"/>	▲	▼	BUSELEC	Business Electro	Business Electronic	<input type="radio"/>	ex_Limpl	2014/03/12	...
<input checked="" type="checkbox"/>	▲	▼	BUSPRINT	Business Print	Business Print	<input type="radio"/>	ex_Limpl	2014/03/12	...
<input checked="" type="checkbox"/>	▲	▼	ECOLELEC	Ecology Electron	Ecology Electronic	<input type="radio"/>	ex_Limpl	2014/03/12	...

リポーティングコードページ

リポーティングコードを追加、インポート、編集、および削除できます（システムから永久に削除する場合）。また、コードを有効/無効にして、ドロップダウンリストに表示されるコードを管理し、ドロップダウンリストに表示されるコードの順序を変更して、デフォルトコードを選択することもできます。デフォルトコードは、コードが選択されていないすべてのオープン注文書明細に使用されます。

Note

インポートすると、既存のリポーティングコードのリストが上書きされます。既存のリストを保存し、それらをインポートしてコードを追加するだけの場合は、次の手順を実行することをお勧めします。

-
1. 既存のリストをファイルにエクスポートします。
 2. エクスポートされたファイルの行を追加または削除して、目的のコードリストを作成します。
 3. 変更したファイルをインポートします。インポートされたファイルのコードのリストは、以前にテーブルに入力された値を上書きします。
-